

ハ. 災害の発生原因

平成11年から平成13年にかけての、(社)日本鋳造協会の調査によりますと、この3年間で発生した休業災害の原因は、図1-6のようになっています。

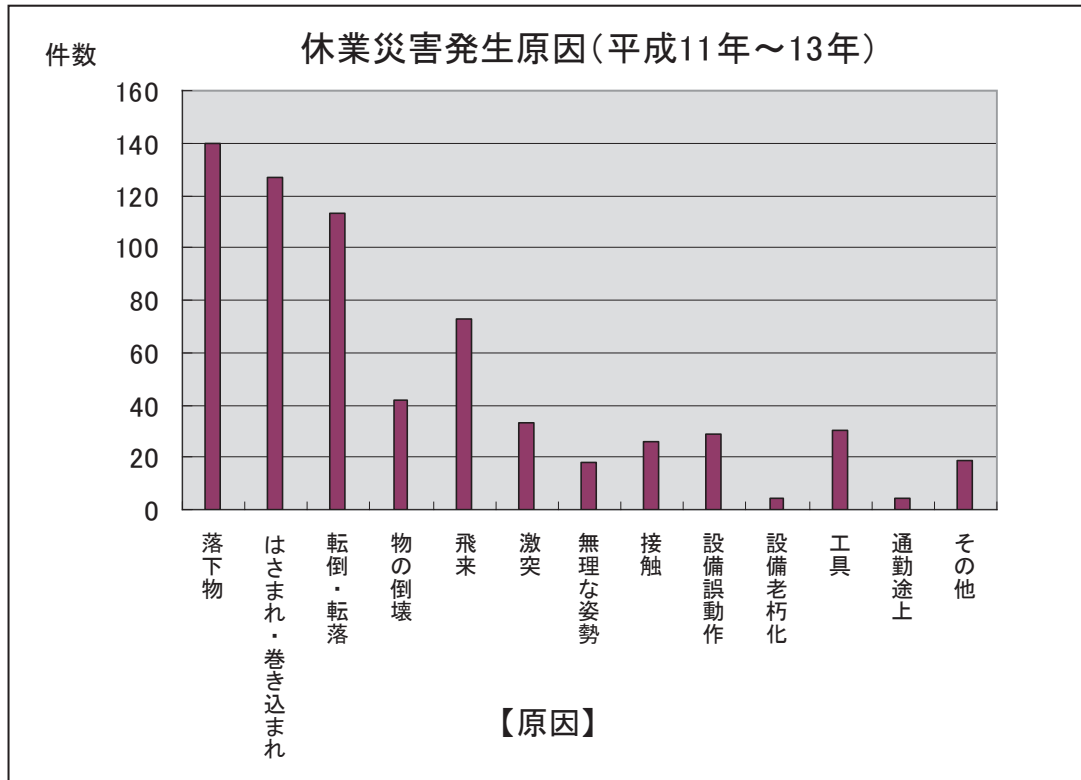


図1-6 休業災害発生原因

(資料出所：(社)日本鋳造協会提供の資料により作成)

物体をワイヤーで吊り上げているときに、ワイヤーフックが不完全であったり、吊荷のバランスを崩したり、吊荷の重心が取れなくて、吊荷を落下させ被災する「落下物」に起因するケースが最も多く、他の作業に気をとられたり、動作の反作用等の作業行動から招来される「はさまれ・巻き込まれ」が次に多い状況です。また、足を滑らせたり、工具等につまずいたり、階段を踏み外したり、飛び降りたりして、被災する「転倒・転落」、溶解、注湯、仕上げ作業時に保護具の装着不良で、湯こぼれ、粉じん、火花等での火傷や異物に混入をきたす「飛来」も安全行動では注意すべきところです。

2 鋳物製造業の災害防止総合対策

平成17年の(社)日本鋳造協会が推進している災害防止総合対策を表1-1に示します。